

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		職員採用事務		事業コード	1612
担当課等	所属名	総務部 職員課		担当係名	
	課長名	総務部 職員課	担当者名	総務部 職員課	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	市民の負託に応える組織の構築・人材の育成	コード 4
	基本事業	職員人材開発の充実	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 1目 職員採用事務(006-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 不明年度～)					
事務事業の概要	職員採用に関する事務(採用試験の実施等)					
根拠法令等	地方公務員法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
退職者の補充, 新規事業実施のための人材確保, 公平公正な職員採用						
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民等から社会人採用枠の導入等, より多様な採用を行うよう要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
行財政改革の推進, 景気動向による民間企業等の採用人員の変化のほか, 長期的には少子化の進行による受験者の減少が見込まれる						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を, 何を対象としているのか)	採用試験申込者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 採用試験申込者	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容, やり方, 手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①実施に関する打合せ及び準備 ②1次試験(筆記)の実施 ③2次試験(面接等)の実施 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①実施に関する打合せ及び準備 ②1次試験(筆記)の実施 ③2次試験(面接等)の実施	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 打ち合わせ	単位	回
				B. 1次試験実施	単位	日
				C. 2次試験実施	単位	日
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市の事務事業実施のために翌年度必要となる人員を確保する。また, 採用試験申込者の中からより有為な人材を選抜する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 受験者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人
				B. 1次試験合格者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人
				C. 最終合格者数 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	政策形成及び職務遂行能力が向上される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	研修参加率(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	採用試験申込者	人	834	1024	951	1,038	930	930	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	打ち合わせ	回	21	20	20	20	20	20	年度
活動 指標B	1次試験実施	日	5	4	3	3	2	2	年度
活動 指標C	2次試験実施	日	5	4	3	5	3	3	年度
成果 指標A	受験者数	人	713	847	780	887	788	788	年度
成果 指標B	1次試験合格者数	人	163	164	167	174	135	135	年度
成果 指標C	最終合格者数	人	66	74	46	68	28	28	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,059	1,343	1,455	1,010	1,323	1,323	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,059	1,343	1,455	1,010	1,323	1,323	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,059	1,343	1,455	1,010	1,323	1,323	*****
	延べ業務時間数	時間	700	700	700	700	690	680	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,760	2,720	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,859	4,143	4,255	3,810	4,083	4,043	*****

3. 事務事業の評価(See)

有効性 評価	①成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容:試験方法及び受験資格の見直しにより、これまで以上に多様な人材の確保が考えられる。		
	効率性 評価	②事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない
理由:現在の統一試験問題の活用により、安価に問題作成等を委託しているため削減の余地はない。			
	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある <input type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
その内容:試験実施において、効率的な事務の執行に努める。			

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/ 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 有為な人材確保のため、就職説明会その他の機会をとらえ、周知を図る。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 職員募集の周知について、就職情報サイトの活用を図る。

5. 課長意見

一次 評価	(1)評価結果	① 有効性 <input type="radio"/> 妥当 <input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり : ② :効率性 <input type="radio"/> 妥当 <input checked="" type="radio"/> 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 市が必要とする有為な人材を確保するため、より人物重視の試験内容とするためこれまで同様にプレゼンテーション面接、集団討論及び個別面接を実施したほか、大卒等の試験日を引き続き7月に実施することにより、受験者数の確保を図った。また、建築技術職の有資格者対象の試験を実施するなど、各職種合わせて62人を採用した。
	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携		
今後の 方向性 と 改革 改善 案			
方向付けの理由と改革改善の内容 定年退職者が増加している中で、市の将来を担う人材は、民間や他団体と競合しながら確保しなければならない状況にあり、市の魅力を更にアピールするとともに、試験方法及び受験資格の見直し等、市職員志望者を増加させるための方策を検討する必要がある。			